

令和元年度第1回スポーツを楽しむまち逗子推進懇話会 議事録

■日 時 2019年(令和元年)6月11日(木) 午後7時～午後8時45分

■場 所 市役所5階第2会議室

■出席者(敬称略・順不同)

(座長) 若菜敏孝、(副座長) 山口勝

石渡眞澄、野口裕之、松井弘喜、相川時雄、近藤雅江、稲葉昌代、長塚諭、藤本
正照、須田正二、杵山英延

(アドバイザー) 横浜国立大学教育学部教授 海老原修

■欠席者(敬称略・順不同) 井上浩子、清水勝男

■事務局出席者

阿万野文化スポーツ課長、土屋係長、鈴木主任、浅川主事

■会議の公開・非公開 公開

■傍聴人の有無 0人

■記録 浅川主事 令和元年6月12日作成

■議題

1. 平成30年度逗子市スポーツ推進計画進捗管理(自己評価)に関する意見聴取
2. その他
 - ・まちづくりネットワーク会議の報告について
 - ・スペインセーリングチームとの交流会について

■事前送付資料

資料1 平成30年度逗子市スポーツ推進計画進捗管理(自己評価)評価シート一式

資料2 評価ランクの基準

資料3 逗子市スポーツ推進計画抜粋(p22～p25、p55～p61)

参考資料1 平成30年度逗子市スポーツ推進計画の進捗管理(自己評価)に関する意見聴取について

参考資料2 平成30年度 うみかぜクラブメニュー 一覧表

参考資料3 スポーツの祭典2018 事業実績報告書

参考資料4 スポーツの祭典2018 イベント別参加者集計表

参考資料5 スポーツの祭典2018 チラシ

参考資料6 小学生のためのスポーツ団体一覧(平成31年4月現在)

参考資料7 平成29年度逗子市スポーツ推進計画進捗管理(自己評価)評価シート一式

■当日配布資料

次第

名簿

スペイン応援キャンペーン2020資料

- ・スペインセーリングチーム交流会
- ・市民応援団募集
- ・市民企画募集

■議事概要

1 開会

【新メンバー紹介】

<事務局>

配付資料を確認する。メンバーの変更があったので報告する。本日欠席だが、ズシッ浦連合会の清水勝男氏が新たにメンバーとして加わった。事務局も人事異動により担当の変更があったので改めて紹介する。

続いて本日の議題について、1点目は「平成30年度逗子市スポーツ推進計画進捗管理（自己評価）」について、所管課の自己評価に対して、皆さまの意見をいただく。

また、その他として、4月に開催された「まちづくりネットワーク会議」について、参加した野口メンバーから状況の報告をお願いします。その後、スペインセーリングチームとの交流会等について事務局からご説明する。

ではここからの進行は座長をお願いします。

2 議 題

(1) 平成30年度逗子市スポーツ推進計画進捗管理（自己評価）に関する意見聴取

<座長>

議事1の「平成30年度逗子市スポーツ推進計画進行管理（自己評価）に関する意見聴取」について、事務局から説明をお願いします。

<事務局>

資料1、2及び参考資料1～7をご覧ください。

進行管理の対象は、個別計画の上位計画である総合計画と基幹計画に記載されている事業である。それぞれに対する所管課の自己評価について、意見をいただきたい。また、スポーツ推進計画の場合はリーディング事業が1つ、基幹計画事業が3つである。さらに、スポーツ推進計画全般（施策体系ごと、理念）に対する所管課の自己評価についても、ご意見をいただきたい。

では、資料1の事業進行管理表について、1事業ずつ説明する。

まずはじめに、事業進行管理表（高齢者向けスポーツプログラム充実事業）について説明する。資料1及び参考資料2をご覧ください。

（資料1 事業進行管理表（高齢者向けスポーツプログラム充実事業）について説明）

<座長>

事務局の説明に対して、質問・意見のある方はお願いしたい。

<石渡>

工夫している点として、「シルバーデーに逗子アリーナ（以下「アリーナ」と言う。）のトレーニングルームの無料開放」とあるが、活用人数の実績をお伝えいただきたい。

<事務局>

平成 29 年度は 53 名、平成 30 年度は 61 名の利用があった。

<石渡>

その数字について、事務局として実績が十分だったと判断しているか。

<事務局>

トレーニングルームの利用は、高齢者の健康・体力づくりはもちろん、アリーナを利用するきっかけになっていると思うので、今後もより多くの方に利用していただけるよう、公益財団法人逗子市体育協会（以下「体協」と言う。）等と連携して活用を促していきたい。

<松井>

他にも様々なメニューがあると思うが、評価対象を「高齢者体力アップ体操」と「筋力アップ&チェアーストレッチ」に絞った理由はあるのか。例えば「健康体操」も昨年 3,000 名を超える参加があったが、評価に入れていないのはなぜか。

<事務局>

高齢者の参加が多いプログラムは他にもあると把握しているが、計画に示されている体協とうみかぜクラブのメニューのうち、対象を高齢者に限定したものとして「高齢者体力アップ体操」と「筋力アップ&チェアーストレッチ」を実施結果に挙げている。

<山口>

計画を作成した際に設定した目標があり、そこに指標がある。目標設定当時からメニュー等が増えている等の実態はあるが、当初作成した目標に沿って評価を行う必要がある。毎年計画を見直すことができるわけではないため、目標以外の事項はコメントを入れる等して対応するしかないのではないか。

<相川>

現在の仕組みでは、一度設定された計画をローリングする（見直す）機会がないから仕方がない。

<石渡>

反省点・問題点にある、アリーナから遠い地域の方への対応は何か考えているのか。また、次期 4 年間の年度別計画について、作成されているのであれば確認したい。

<事務局>

時期 4 年間の年度別計画については、次年度以降の評価対象としてこれから作成することとなる。

<石渡>

アリーナから遠い地域の方への対応については、これからの計画にその対応を入れておいてほしい。

また、昨年 8 月に推進計画の見直しを行った中で、各地域や他部署等での活動を把握するという話だったが、昨年実績等でお伝えいただけるものはあるか。

<事務局>

社会教育課や高齢介護課の事業等、実施情報は確認をしているが、そのうち高齢者の参加者数がどのくらいだったかは把握していない。

<野口>

昨年の意見に書いてある、コミュニティセンター等での活動実態は把握しているか。恐らく、アリーナに来たこと^{イコール}スポーツ教室への参加とカウントされるのだと思うが、コミュニティセンター等の各施設での参加実態を踏まえて、アリーナから離れた地域の方の参加を評価することにはできないだろうか。

<事務局>

沼間コミュニティセンターでの実態は把握しているが、その他は確認できていない。逗子市としては、アリーナをスポーツの拠点として位置付けているので、アリーナを中心にとらえている。また、体協には、地域ごとの利用者人数を把握できるようアンケート調査を依頼し、課題の洗い出しを行っているところである。

<野口>

どうしてもアリーナ中心で考えるということか。拠点はアリーナで良いのだが、裾野として、各施設等での活動の推進を検討することにつなげられないものか。

<事務局>

他部署との連携を積極的に行っていきたい。

<相川>

これらの意見も踏まえて、4年間の計画の見直しができるのであれば良いのだが。

<事務局>

昨年度の本懇話会で、2019年度からの4年間の目標を変更するかどうかを踏まえて方針を決めた。そこで、2019年度から2022年度まで、目標の事業概要を「変えない」という方針になった。

<石渡>

年度別計画は変えても良いのではないかと。事業概要は変えないことになったかもしれないが、年度別計画は変更することができるのかを確認したい。

<山口>

年度別計画として、2019年度からの内容は2015年度の内容のままとしたのか、変更しても良いのか。

スポーツの拠点であるアリーナの使用人数を把握するためには、うみかぜクラブや体協の自主事業における人数を把握するという意図は分かる。しかし、対象が高齢者限定でないメニューや、地域別の活動も広がりを見せている今、それらについても年度別計画に入れ、評価対象とできれば良いというのがこの会の意見であると思う。昨年度の会議では年度別計画の中身も変更しないということになったのか。

<事務局>

資料3 P58の「2019年度から2022年度までの主な事業内容」については、昨年度の本懇話会にて変更しないと決定していただいている。

<野口>

それに向けて年度別計画は変更できるのか。

<事務局>

年度別計画は、資料3 P58の「2019年度から2022年度までの主な事業内容」となる。実績の部分では、来年度は他課とも連携し、コミュニティセンターでの活動や、高齢介護課での高齢者向け事業についても報告させていただく。

<相川>

高齢者の定義はどのようなものか。

<事務局>

65歳以上である。

<松井>

各課が行っている事業は、アリーナでなぜ行われぬのか。

<事務局>

アリーナで体協がおこなっている事業と重なる。

<松井>

うみかぜクラブでは、施設使用料の負担や講師不足が問題である。市の施策で、施設使用料免除等の手続きはとれるのか。

<事務局>

体協からの申し出で、今年度からうみかぜクラブと体協の事業は施設使用料を減免している。

<松井>

アリーナから遠い地域の方の参加が少ない。他施設で行いたいと考えているが、施設使用料が問題である。

<座長>

当初計画に対する評価に移る。懇話会の意見欄に皆様の意見を加えることで、評価は事務局の自己評価と同じ「a」でよろしいか。

【異議なし】

<事務局>

次に、事業進行管理表（スポーツ推進事業（逗子市スポーツの祭典））について説明する。参考資料3、4、5をご覧ください。

（資料1 事業進行管理表（スポーツ推進事業（逗子市スポーツの祭典））について説明）

<座長>

事務局の説明に対して、質問・意見のある方はお願いしたい。

<山口>

前提として、スポーツの祭典の参加者数 4,000 人という数値目標の根拠が曖昧であるため、その認識をもって評価できればと思っている。しかし一方で、反省点の「参加者数を増やすよう努める必要があった」の表現は、4,000 人という目標数値のみに対して事務局が評価したものと思われる。目標数値のみを評価するだけでなく、目標に沿った事業ができていたかを評価対象として良いのではないか。

<松井>

昨年も 4,000 人という数値目標から、事務局は評価を c としていたが、本懇話会で b が妥当ではないかという意見が挙がったので、それらを踏まえて b にしたと記憶している。

<石渡>

個別計画進行管理総括表－1の②目標1ではcとあるが。これを踏まえて管理表の評価をbとしているのか。

<事務局>

事業進行管理表は平成 30 年度の評価であり、個別計画進行管理総括表の評価は 4 年間の総括目標となっている。それぞれ評価の方法が異なる。

個別計画進行管理総括表は事業の内容や個別事情を加味する余地がなく、数字以外の要素のない指標となっているため、評価を c としている。しかし、事業進行管理表では、30 年度は交付金が無い中で参加者数が増えたという個別事情を考慮して、b とさせていただいた。

<野口>

事業進行管理表が必ずしも 4,000 人に過ぎない評価をするということは分かったが、そもそも目的に「継続的にスポーツを実施していくきっかけづくりとして」とある。スポーツの祭典がきっかけとなり、スポーツの継続につながったかどうかの調査はできているのか。

<事務局>

30 年度はアンケートを取らなかったため、効果が把握できていない。今年度はアンケートの実施を検討する。

<山口>

言葉では簡単だが、効果を把握するのは難しいと思う。人によって感じ方も異なるため、様々なケースが想定される。アンケート方法は吟味すべきだろう。

<事務局>

ご指摘のとおりである。しかし、これまでアンケートの実績がないので、実施することに意義があるとも考えている。

<座長>

前向きな意見も出たため、懇話会の意見欄に記載してほしい。評価に移る。

<相川>

社会情勢が悪化している中、参加者が増えていたことも踏まえ、評価はbで良いと思う。

【異議なし】

<事務局>

次に、事業進行管理表（スポーツ推進事業（スポーツ支援体制の充実））について説明する。

（資料1 事業進行管理表（スポーツ推進事業（スポーツ支援体制の充実））について説明）

<座長>

事務局の説明に対して、質問・意見のある方はお願いしたい。

<石渡>

年度別計画の指導者の情報収集とあるが、昨年は収集した情報のリニューアルはされたのか。

<事務局>

小学生のためのスポーツ団体一覧は、毎年情報を更新している。「スポーツ指導者情報の検索」は、県のホームページのリンクを貼ることで対応しており、県が随時更新している。

<石渡>

県のホームページを掲載しているだけと捉えて良いか。

<事務局>

そのとおりである。

<座長>

評価について、事務局の評価と同じ「a」でよろしいか。

【異議なし】

<事務局>

次に、事業進行管理表（池子の森自然公園の運動施設利用推進事業）について説明する。

（資料1 事業進行管理表（池子の森自然公園の運動施設利用推進事業）について説明）

<座長>

事務局の説明に対して、質問・意見のある方はお願いしたい。

<山口>

「維持管理についてはおおむね適切に対応している」とあるが、維持管理でうまくできていないことがあったのか。

<事務局>

予算等の関係で、指定管理者からの修繕の要望全てに応えられているわけではないため、

「おおむね」という表記にさせていただいた。

<相川>

事業名が「利用推進事業」となっているので、稼働率を示しておく必要があると思う。

<山口>

そもそも、資料3P61の2022年度の目標「利用率10%」の根拠は何なのか。

<事務局>

当時は実績がない中での目標設定であったため、明確な根拠はない。

<野口>

池子の森自然公園の運動施設の利用人数は、平成27年度と比較して現状はどうなっているのか。

<事務局>

利用人数は、27年度43,903人、30年度は53,185人である。よって、27年度から30年度は約21%増のである。

<座長>

評価に移りたい。

<山口>

行政計画上は目標の事業が中止しているため、評価自体どう取り扱うのか難しいところではある。

<石渡>

維持管理ができていますので、意見についてはコメントを入れ、評価はbとして良いのではないかと。

<座長>

ただいま「b」という意見があったが、いかがだろうか。

【異議なし】

<石渡>

全体を通しての質問をさせていただく。担当部署が異なるかもしれないが、このシートの評価方法やランクが毎年変わる。変えた理由の説明はあるのだろうか。頻繁に変更があると非常に評価しにくい。

<事務局>

担当課から特に説明はなかったが、評価がよりしやすくなるよう様式を変更したと認識している。

<座長>

この会議でこういった意見が出たことを記録に残していただき、担当課には報告願う。

<事務局>

了解した。

続いて個別計画進行管理個別計画進行管理総括表について説明する。

(資料1 個別計画進行管理個別計画進行管理総括表－1・2について説明)

<座長>

事務局の説明に対して、質問・意見のある方はお願いしたい。

<山口>

個別計画進行管理総括表－1、個別計画の評価1の「4年間の取り組みに係る総括コメント」に、オリンピック・パラリンピック（以下「オリパラ」という。）についての記載があるが、ここに記載をした意図は何なのか。関連性が分からなかった。

<事務局>

4年間の指標にはオリパラの説明がないので、唐突な印象は否めない。しかし、令和元年度からの目標として、スポーツ推進事業の位置付けの中で、「オリパラ開催記念イベント等の開催」とあるので、今後の取り組みにつなげるコメントとして入れた。昨年度の実施結果にもオリパラに関するコメントが入っているため、記載自体は初めてではないが、ご意見のとおり関連性が見えにくいと思う。

<相川>

スポーツの祭典は、オリパラを意識して取り組んでいる面もあるので、記載しても良いのではないか。

<山口>

4年間の計画に対する総括として見ると違和感がある。これは一つの意見としておくので、あとの記載方法は事務局の判断に任せる。

<事務局>

総括コメントはこのままとし、皆様からの意見はコメントとして記載させていただく。

<藤本>

スポーツの祭典の参加者数について、目標は達成できていないが、事業が継続していく中で、今後具体的に目標達成に向けて対策したり企画していく組織や場はどこになるのか。

<事務局>

スポーツの祭典については、逗子市スポーツの祭典実行委員会が企画・運営を行っており、逗子市スポーツ推進委員協議会・体協・逗子市社会福祉協議会等、関係団体に参加していただき、できるだけ多くの意見を取り入れて運営している。市内の市立小中学校へもチラシの配付等を行い、参加を促している。

<座長>

評価に移りたい。個別計画進行管理総括表－1の評価について、事務局の提案どおりでよろしいか。

<山口>

個別計画進行総括表－1の②目標【2020年】に対する評価の目標2は、おおむね達成し

ている。全国平均も上回っているので、bで良いのではないか。

<座長>

個別計画進行総括表－1の②目標【2020年】に対する評価の目標2について、評価bでよろしいか。

【異議なし】

<座長>

個別計画進行総括表－1について、その他は事務局の評価どおりでよろしいか。

【異議なし】

<座長>

個別計画進行管理総括表－2についてはいかがか。

<相川>

高齢者向けスポーツプログラム充実事業と逗子市スポーツの祭典はaで良いのではないか。

<山口>

池子の森自然公園の運動施設利用推進事業については、aはない。

<石渡>

2016年度・2017年度は、個別計画の評価2について、審議会等が妥当と考える評価区分を「B」としている。今回もBで良いのではないか。

<相川>

2020年度の目標に対してはまだ評価できないのではないか。

<石渡>

途中経過の評価なので「B」で良いと思う。

<座長>

以上を踏まえ、個別計画進行総括表－2については、事務局の評価どおりでよろしいか。

【異議なし】

(2) その他

<座長>

続いて、議題2「その他」について、まずは4月に開催された「まちづくりネットワーク会議」の報告を、野口メンバーにお願いしたい。

<野口>

4月13日(土)にまちづくりネットワーク会議に参加した。市長が変わったこともあり、改めて所信表明や財政対策についての話があった。住民自治協議会の活動報告もされた。

グループごとに、住民自治協議会やお互いの審議会・協議会の活動についての意見交換が

行われたが、会議に際して事前にアナウンスがなく、資料も少なかったので、議論が煮詰まらない部分があった。会議の形が定まっていないような印象があり、議論の内容を活かしきれていないような感じを受けた。市長も今後の会議の在り方について検討しているようだった。

【意見・質問等なし】

<座長>

続いて、スペインセーリングチームとの交流会について、事務局から説明願う。

<事務局>

(当日配付資料 スペインセーリングチームとの交流会について説明)

【意見・質問等なし】

<座長>

以上で本日の議事がすべて終了した。進行を事務局に返す。

<事務局>

本日いただいたご意見は、事務局でまとめた後、皆さまに内容のご確認をお願いしたうえで内容を確定する。

次回の会議の日程については、改めて調整する。

以上をもって「令和元年度第1回スポーツを楽しむまち逗子推進懇話会」を閉会する。

◇◇◇終了◇◇◇